

2026年8月5日

各 位

SBI生命保険株式会社

ディスクロージャー資料の完全デジタル化のお知らせ

～利便性の向上と環境負荷軽減、Web推進によるDXの加速を目指して～

SBI生命保険株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：篠原 秀典、以下「当社」）は、ステークホルダーの皆さまへの情報開示のさらなる充実と持続可能な社会への貢献を目指し、これまで冊子（紙媒体）で発行していたディスクロージャー誌（アニュアルレポート）を、2026年7月開示分より全面的にデジタル化（コーポレートサイト掲載への完全移行）したことをお知らせいたします。

■ 背景と目的

当社は、経営の透明性を高めるための適切な情報開示に努めるとともに、重点戦略として「Web・デジタル推進（DX）」および「ESG（環境・社会・ガバナンス）経営」を積極的に展開しております。

こうした戦略に基づき、当年度のアニュアルレポートについて、従来の紙冊子による配布を廃止し、当社Webサイトでの開示に完全移行することを決定いたしました。これにより、皆さまの利便性向上と、印刷・配送プロセスにおける環境負荷の低減を同時に実現してまいります。

■ 完全デジタル化による主な3つの効果

1.利便性の向上（アクセシビリティの強化）

- いつでも・どこでも閲覧可能：

スマートフォンやタブレット、PCから、時間や場所を選ばずに最新の経営情報にアクセスいただけます。

- 検索・視認性の向上：

PDFおよびWebコンテンツ化により、キーワード検索や目次からのジャンプ機能が利用可能となり、目的の情報へ瞬時に到達できます。

2. 環境への配慮（「ESG経営」の推進）

- ペーパーレスによる資源保護：

冊子の印刷・製本に要していた紙資源を削減し、森林保護に貢献します。

- CO₂排出量の削減：

印刷工程および全国への配送（輸送）プロセスがなくなることで、サプライチェーン全体における温室効果ガス（CO₂）の排出量を削減します。

3. 「Web・デジタル推進（DX）」の加速

- ・ 当社が推進する「デジタルを基盤とした顧客体験の向上」および「業務効率化」に合致する取組みです。今後も、情報開示にとどまらず、各種コミュニケーションのデジタルシフトを加速させてまいります。

■ デジタルアクセシビリティへの配慮とコンプライアンスの徹底

一方で、完全デジタル化の推進にあたり、デジタル環境に不慣れな皆さまへの配慮（デジタルアクセシビリティ）は必須であるとも考えており、また、関係法令に則った適切な情報開示を最優先事項の一つとして取り組んでまいります。

- ・ 「会社案内」の備置とスムーズな導線確保：

本社には、電子化したディスクロージャー資料のURLや二次元バーコードを表示した「会社案内」をいつでもご覧いただけるようにご用意しております。ご来社いただいたお客さまが、その場での読取りや、「会社案内」のお持ち帰りを通じて、いつでも最新のディスクロージャー情報へアクセスできる環境を整えます。

- ・ 対面サポート体制：

スマートフォン等での閲覧方法が分からないお客さまに対しては、個別に操作のご案内やサポートを行うことで、すべての皆さまが公平に情報を取得できるよう配慮いたします。

- ・ 法令に準拠した開示・縦覧体制の維持：

関係法令に準拠した厳格な情報開示体制を維持し、透明性の高いガバナンス体制を継続してまいります。

■ 具体的な掲載場所（URL）

ディスクロージャー資料は、当社コーポレートサイト内の「業績案内ページ」にて公開しています。

- ・ 公式Webサイト内 業績案内ページURL：

<https://www.sbilife.co.jp/corporate/disclosure.html#dis>



当社は、今後もデジタル技術を有効に活用しながら、ステークホルダーの皆さまへのタイムリーかつ適切な情報開示を追求するとともに、持続可能な社会の実現に向けた取組みを推進してまいります。

以上

< 本件に関するお問い合わせ先 >

SBI生命保険株式会社 広報担当

E-mail：pr@sbilife.co.jp

※お問い合わせはメールにてお願いいたします。